

日本留学試験（日本語）アイテム作成謝金等について

令和4年12月9日 改正
独立行政法人日本学生支援機構

1. アイテム作成謝金

独立行政法人日本学生支援機構(以下「本機構」という。)は、日本留学試験（日本語）アイテムライター制度に基づいて採用されたアイテムライターに対し、アイテムの作成を依頼する。本機構は厳正な審査に基づき、作成・提出されたアイテムの採否を決定する。(良質であるかどうか判断する。)

採用（良質と判断）されたアイテムは、本機構が著作権も含め買い取る。

本機構はアイテムを作成したアイテムライターに対し、アイテムの採用状況に応じて謝金として支払う。

(1) 謝金算定方法

- ①試験の都度、各アイテムライター毎に、計算式Aによって、その回における各アイテムライターのアイテム採用率を求める。
- ②上で求めた採用率をもとに、換算表Bによって、採用アイテムの単価を決定する。
- ③当該回の採用率に応じた単価に採用アイテム数を乗じた金額を謝金として、アイテムライターに支払う。

※計算式A $\frac{\text{採用アイテム数}}{\text{提出アイテム数}}$

*実際の提出アイテム数が、指定した提出アイテム数を下回る場合、計算式の分母の「提出アイテム数」は指定した提出数の下限とする。なお、作成アイテム数は、6アイテム以上と指定しているため、下限の数は6となる。

※換算表B

採用率	採用アイテムの単価
75%以上	4,400円
50%以上 75%未満	3,850円
25%以上 50%未満	3,300円
25%未満	2,750円

(2) 読解問題複問作成時の扱いについて

複問（一つの本文または視覚情報に対し、複数の問いがつけられたもの）として提出されたアイテムの提出アイテム数および採用アイテム数は以下のようにカウントする。

①提出アイテム数

作成した問いの数ではなく、提出した本文の数を提出数としてカウントする。

②採用アイテム数

- 複問の問い2問とも採用 → 採用アイテム数1.5とする。
- 複問の問い2問中、1問採用 → 採用アイテム数1とする。
- 不採用 → 採用アイテム数0とする。

(事例)

- ①提出アイテム数が15で、採用アイテム数が12のケース（すべて単問）

採用率 $12 \div 15 = 80\%$

よって 単価は4,400円

$4,400 \text{円} \times 12 \text{採用アイテム} = 52,800 \text{円}$

- ②提出アイテム数が2で採用アイテム数が1のケース（すべて単問）

下限の数が6アイテムのため

採用率 $1 \div 6 = 16.6\%$

よって 単価は2,750円

$2,750 \text{円} \times 1 \text{採用アイテム} = 2,750 \text{円}$

- ③提出アイテムが15（内訳：単問10、複問5）で、提出アイテムが全て採用されるケース

単問 10アイテム提出 → 採用アイテム数10

複問 5アイテム提出（5アイテム×問い2問） → 採用アイテム数7.5（5提出アイテムについて、問い2問ずつ採用）

採用率 $17.5 \text{（単問採用} 10 + \text{複問の問い} 2 \text{問採用} 7.5 \text{）} \div 15 = 116.6\%$

よって 単価は4,400円

$4,400 \text{円} \times 17.5 \text{採用アイテム} = 77,000 \text{円}$

- ④提出アイテムが6（内訳：単問4、複問2）で、採用アイテム4のケース

単問 4アイテム提出 → 採用アイテム数2

複問 2アイテム提出（2アイテム×問い2問） → 採用アイテム数2（2提出アイテムについて、問い1問ずつ採用）

採用率 $4 \text{（単問採用} 2 + \text{複問の問い} 1 \text{問採用} 2 \text{）} \div 6 = 66.6\%$

よって 単価は3,850円

$3,850 \text{円} \times 4 \text{採用アイテム} = 15,400 \text{円}$

- ⑤提出アイテムが3（内訳：単問1、複問2）で、採用アイテム2.5のケース

単問 1アイテム提出 → 採用数0

複問 2アイテム提出（2アイテム×問い2問） → 採用アイテム数2.5（提出アイテムのうち、一方は問い2問採用、もう一方は問い1問採用）

下限の数が6のため

採用率 $2.5 \text{（単問採用} 0 + \text{複問の問い} 2 \text{問採用} 1.5 + \text{複問の問い} 1 \text{問採用} 1 \text{）} \div 6 = 41.6\%$

よって 単価は3,300円

$3,300 \text{円} \times 2.5 \text{採用アイテム} = 8,250 \text{円}$

2. 事務経費

アイテム提出者全員に対して、事務経費（アイテム提出時に必要となる通信費（書留速達料、宅配便送料等）及び事務費（コピー代等））として1回の提出につき一律1,500円を支給する。

3. 一時金

累積採用数が25アイテムに達する毎に、一時金5,000円を支給する。

4. その他

(1) アイテム作成謝金は、“試験問題の出題料”に当たるため、源泉徴収は行わない。

(2) 年間の支払い総額により、「報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書」を作成する。

以上